

パワーオプティマイザトラブルシューティング

概要

この手順では、パワーオプティマイザが発電していない、もしくはパワーコンディショナによって認識されていない場合について、パワーオプティマイザをテストする方法について説明します。パワーオプティマイザを交換する場合は、全ての測定を完了させて値を記録し、交換用紙に記入してください。

必要なツール

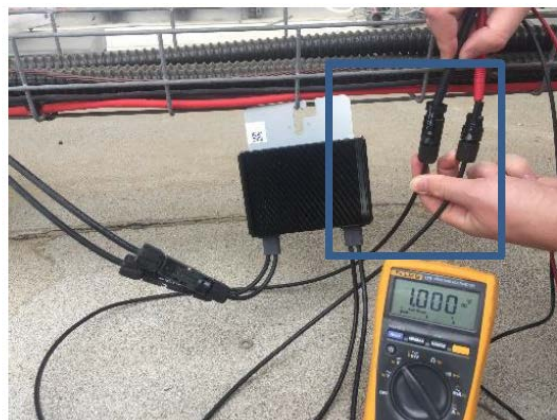
- a. テスター
- b. クランプメータ

テスト手順

1. 手順2～6に説明のある以下のテストを全て完了し、保証対象の交換のためには測定された全ての値を記録する必要があります。
2. **ペアリングの開始**：パワーオプティマイザがパワーコンディショナで認識されない場合は、ペアリング処理を開始します。ペアリングが完了したら、パワーコンディショナが全てのオプティマイザを認識するまで30分間待ちます。
3. モジュールからの入力ケーブルの電流値をクランプメータを用いて測り、測定値を記録します。：
_____ 電流があれば発電しています。

次に進む前に、ON / OFFスイッチをOFFに切り替え、DC電圧が50Vより低くなるまで待ってください。ONのまま作業をすると、パワーコンディショナ/オプティマイザが破損する恐れがあります。

4. パワーオプティマイザが**逆極性で接続されていないか、またはコネクタが緩んでいないことを確認**します。
極性が逆だったり、接続が緩んでいる場合は、接続を修正して再度ペアリングを試みてください。
※汚れや水の侵入、緩みなどコネクタ内部までご確認ください。
5. **接続が正しい場合は**：（モジュールからではなく）ストリングからパワーオプティマイザを外し、パワーオプティマイザの出力電圧を測定します。： _____ = _____
※以下の範囲であれば交換してください。



$V_{out} < 0.6V$ の場合 — パワーオプティマイザを交換してください

$V_{out} > 1.4V$ の場合 — パワーオプティマイザを交換してください

6. スtringとモジュールからパワーオプティマイザを外し、ダイオードテストを実行します。次のいずれかのテストで **100 Ω未満**である場合は、パワーオプティマイザを交換します。

- a. テスターを「抵抗テストモード (Ω)」に切り替えます。
- b. 入力（パワーオプティマイザの短いケーブル）のテスト：（+）の電極をパワーオプティマイザの（+）の入力コネクタに接続し、（-）電極をパワーオプティマイザの（-）入力コネクタに接続します: _____ ※入力の+/-間の抵抗を測定（極性を確認）



- c. 出力（パワーオプティマイザの長いケーブル）のテスト：（+）電極をパワーオプティマイザの（+）出力コネクタに接続し、（-）電極をパワーオプティマイザの（-）出力コネクタに接続します: _____ ※出力の+/-間の抵抗を測定（極性を確認）



7. モジュールの開放電圧測定：電圧モジュールの開放電圧（Voc）を測定し、結果をモジュールのデータシートと比較します。値が異なる場合は、モジュールに問題があることを意味します。



ソーラーエッジパワーオプティマイザ 交換フォーム

注意: 保証対象の交換のために、全てのテストを完了し、測定された全ての値を記録する必要があります。

日付: _____

設置業者様名: _____

太陽光サイト名: _____

パワーコンディショナの製品番号: _____

古いパワーオプティマイザの製品番号: _____

新しいパワーオプティマイザの製品番号: _____

問題が起こった日や状況など: _____

測定された出力電圧 (V): _____

測定された入力抵抗値 (Ω): _____

測定された出力抵抗値 (Ω): _____

測定されたモジュールの開放電圧(V): _____

パワーオプティマイザの交換保証を受けるにはこのフォームを support@solaredge.jp 迄お送り下さい。

Case 番号及び RMA (Return Material Approval) 番号が付与されます。

予め当社にご連絡頂きすでに Case 番号を付与されている場合は、そのお知らせのメールに返信で当フォームを添付の上ご送信下さい。

上記工程で全てに問題なければ、ソーラーエッジサポートセンターにご連絡下さい。

[Tel: 03-6262-1223](tel:03-6262-1223)

Email: support@solaredge.jp